

研究ノート

いわゆる“不M不”形式の二重否定について

黄 偉¹

The Double Negative of a So-called “bù M bù”

Wei HUANG¹

キーワード 不能不, 不得不, 不会不, 不要不, 不该不, 意味特徴

Keywords: bu neng bu, bu dei bu, bu hui bu, bu yao bu, bu gai bu, semantic feature

1 はじめに

二重否定は一般に否定の否定と言われ、すなわち肯定の意味を表すものであるが、必ずしも単純な肯定の意味と同じであるとは限らない。というのは、二重否定のほうが単純な肯定にある程度の感情を付加しているからである。その中で、いわゆる情態動詞の二重否定は一般に“不M不”と表記される。“M”はmodalの略語であり、ここで情態動詞を表わす)“不M不”は話し手の気持ちを強調するため、複雑で、把握しがたい二重否定表現の一つである。“不能不帮忙”, “不得不防备”, “不会不知道”, “不要不相信”, “不该不采纳”などのように、“不M不”としての“不能不”, “不得不”, “不会不”, “不要不”, “不该不”はいずれも動詞の前において連用修飾語として機能しているが、その意味特徴が様々である。それでは、“不M不”は単純な肯定にどんな意味合いを付加するのか、先行研究ではそれに関する記述が不十分である。本稿では、先行研究の成果を踏まえ、意味特徴の視点から“不能不”, “不得不”, “不要不”, “不会不”, “不该不”(不应该不)のような5形式を典型的な“不M不”としてとらえ、その意味を分析する。

2 先行研究

本節では先行研究を概観し、本稿の立場を明らかにする。“不M不”に関する先行研究には崔显军(2001), 芑崧(2003), 谭惠敏(2006)などがあげられる。

崔显军(2001)の説では、“不M不”の二重否定表現は単純な肯定と基本的に意味が同じではあるが、二重否定のほうが単純な肯定にある意味合いを付加し、より婉曲な表現であると述べている。それに対し、芑崧(2003)では“不M不”が単純な肯定とは異なり、ほとんどが肯定より強調する気持ちを表わすと主張している。さらに、谭惠敏(2006)では“不M不”の内、“不得不”と“不能不”を比較し、両者ともに動詞の前において連用修飾語として機能するという類似点を持つが、“不能不”は主観的な原因でやむを得ない場合に用いられるのに対し、“不得不”は主観的なことを表さないという相違点があるとまとめている。

以上のように、先行研究ではさまざまな視点から結論を下しているが、いずれにおいても、“不M不”形式の意味特徴の分析的研究が進められていない。

本稿ではこれらの先行研究の立場とは異なって、“不M不”の形式を5形式、つまり“不能不”, “不得不”, “不要不”, “不会不”, “不该不(不应该不)”のように分析して考察する。以下では5形式を類型分析してそれぞれ意味の違いについて研究する。なお、本稿で示す“不M不”の中の“M”は情態動詞とする。

3 “不能不”の意味特徴について

“不能不”は情態動詞の“可能(能)”(「~かもしれない」)に対する二重否定の表現であり、その意味合いは下記のよ

¹ 891-0197 鹿児島市坂之上 8-34-1 鹿児島国際大学大学院国際文化研究科

Graduate School of Intercultural Studies, The International University of Kagoshima, 8-34-1 Sakanoue, Kagoshima 891-0197, Japan

2011年6月24日受付, 2011年9月27日採録

うに二分される。

3.1 必然性を推定するという意味を表わす場合

まず、具体的な例文を挙げる。

(1) a 看这部作品，我们的心理不能不受到一种强烈的精神震撼。(人民网 2011年5月11日)

b 看这部作品，我们的心理能受到一种强烈的精神震撼。

(2) a 他们不能不失败。(《文宏文集》)

b 他们可能失败。

(3) a 人总不能不生病啊！(人民网 2010年5月4日)

b 人总可能生病啊！

aは具体的な事例であり、bはaの肯定文である。例(1) a “我们的心理不能不受到一种强烈的精神震撼。”は「われわれは深く感動を受けなければならない。」という意味を表わす。それに対し、例(1) b “我们的心理能受到一种强烈的精神震撼。”は「われわれは深く感動を受けるかもしれない。」という意味を表す。例(2) a “他们不能不失败。”は「彼らは失敗しなければならない。」という意味を表わす。それに対し、例(2) b “他们可能失败。”は「彼らは失敗するかもしれない。」という意味を表わす。例(3) a “人总不能不生病啊！”は「人間こそ病気になるなければならない。」という意味を表わす。それに対し、例(3) b “人总可能生病啊！”は「人間こそ病気になるかもしれない。」という意味を表わす。以上のような類型では、“不能不”は話し手があるものに対し、その必然性を推定するという意味を表わすと言える。

3.2 やむを得ない意味を表わす場合

具体的な例文を下記のように挙げる。

(4) a 只因为徐太太帮过她的大忙，所以这开发公司“资助”的走穴活动她不能不参加。(陈建功《皇城根》)

b 只因为徐太太帮过她的大忙，所以这开发公司“资助”的走穴活动她可能参加。

(5) a 我不能不签字，不签字不能摘帽子。(冯骥才《一百个人的十年》)

b 我(可能)签字，不签字不能摘帽子。

(6) a 这就好像一座漂亮的房子，我们在里面住了100多年，对房子已有深厚感情，现要交还给它的主人，心里舍不得，却又不能不交。(人民网 2011年6月30日)

b 这就好像一座漂亮的房子，我们在里面住了100多年，对房子已有深厚感情，现要交还给它的主人，心里舍不得，却又可能交。

例(4) a は“只因为徐太太帮过她的大忙”「徐さんの奥さんが大いに彼女を助けてくれたことがあるから」という理由を受け、人情から“这开发公司‘资助’的走穴活动她不

能不参加。”(「彼女はこの開発会社が行ったお金儲けのイベントに参加せざるを得ない。)」という意味を表わす。それに対し、例(4) b “这开发公司‘资助’的走穴活动她可能参加。”は「彼女はこの開発会社が行ったお金儲けのイベントに参加するかもしれない。」という意味を表わす。例(5) a は“不签字不能不摘帽子”「サインしないと汚名をはらせないから」という客観的な理由で、“我不能不签字”「私はサインをせざるを得ない。」という意味を表わす。それに対し、例(5) b “我可能签字”は「私はサインするかもしれない。」という意味を表わす。例(6) a では、“现要交还给它的主人”(「現在、大家さんに部屋を返さなければならない。)」ということと、「心里舍不得，却又不能不交”(「部屋を離れたいが、部屋を返せざるを得ない。)」という意味を表わす。それに対し、例(6) b “可能交”は「部屋を返すかもしれない。」という意味を表わす。例(4)例(5)例(6)のような類型では、“不能不”は主観的な理由か客観的な理由でやむを得ない場合にも用いられる。

4 “不得不”の意味特徴について

“不得不”は情態動詞“得”(「～しなければならない」)の二重否定の表現であり、「～せざるを得ない」という意味を表わす。このような見解については、下記の例文によって裏付けられる。

(7) a 原来，“空中霸王号”途中遇到雷电，不得不迫降新加坡，耽搁了近两个小时。(人民网 2011年5月24日)

b 原来，“空中霸王号”途中遇到雷电，得迫降新加坡，耽搁了近两个小时。

(8) a 在审讯中，尽管他百般狡猾，但在确凿证据前，终于不得不承认了自己所犯下的罪行。(人民网 2011年7月7日)

b 在审讯中，尽管他百般狡猾，但在确凿证据前，终于(得)承认了自己所犯下的罪行。

(9) a 1998年以前，家乡还没有通公路，村民赶场要到县城赶场，孩子们到县城上学，不得不在雷公山脚下的羊肠小道上徒步行走。(人民网 2011年6月29日)

b 1998年以前，家乡还没有通公路，村民赶场要到县城赶场，孩子们到县城上学，得在雷公山脚下的羊肠小道上徒步行走。

例(7) a では“‘空中霸王号’途中遇到雷电”(「“空中霸王号”飛行機が途中で雷に遭遇した。)」という客観的な理由で、“不得不迫降新加坡，耽搁了近两个小时。”(「シンガポールに不時着せざるを得なかった。そして、およそ2時間逗留した。)」

という意味を表わす。それに対し、例(7) b “得迫降新加坡”は「シンガポールに不時着しなければならない。」という意味をあらわす。例(8) a では“在确凿证据前，终于不~~得~~不承认了自己所犯下的罪行”(「確実な証拠の前に、自分の犯した罪を認めざるを得なかった。」)という意味を表わす。それに対し、例(8) b “在确凿证据前，终于(得)承认了自己所犯下的罪行。”は「確実な証拠の前に、ついに自分の犯した犯罪を認めた。」という意味をあらわす。例(9) a では、“家乡还没有通公路”(「故郷はまだ道路を通していない。」)という客観的な理由で、“不~~得~~不在雷公山脚下的羊肠小道上徒步行走”(「雷公山の麓の曲がりくねった小道を歩行せざるを得なかった。」)という意味を表わす。それに対し、例(9) b “得在雷公山脚下的羊肠小道上徒步行走”は「雷公山の麓の曲がりくねった小道を歩行しなければならない。」という意味を表わす。以上のように、“不~~得~~不”は客観的な理由で、やむを得ない場合に用いる。

3.2で示されている“不能不”は主観的な理由か客観的な理由でやむを得ない場合に用いられるが、“不~~得~~不”は主観的なことを表さないで、“不能不”と異なる。

5 “不会不”の意味特徴について

“不会不”は情態動詞の“会”(「～するであろう」)の二重否定の表現である。その意味合いは下記のように二分される。

5.1 承諾の意味を表わす場合

文の主語が第1人称である場合、“不会不”は話し手の承諾の意味を表わす。このような見解は下記のような例文で裏付けられる。

- (10) a 那好，我要拍一部戏，我不会不给你钱的。(人民网 2008年10月22日)
 b 那好，我要拍一部戏，我会给你钱的。
- (11) a 你是碧槐的好朋友，我从小叫你高妹妹，我不会不理你。(人民网 2010年1月8日)
 b 你是碧槐的好朋友，我从小叫你高妹妹，我会理你。
- (12) a 如果我真的做了，我不会不承认。(人民网 2006年9月27日)
 b 如果我真的做了，我会承认。

例(10) a “我不会不给你钱的。”は「私はあなたにお金をあげないわけがないよ。」という意味を表わす。それに対し、例(10) b “我会给你钱的”は「私はあなたにお金をあげるよ。」という意味を表わす。例(11) a は「あなたは碧槐さんのいい友達であり、私は小さい時からあなたを高ちゃんと呼んでいるので、私はあなたと付き合わないわけはないよ。」という意味を表わす。それに対し、例(11) b は「あなたは碧槐さんのいい友達であり、私は小さい時からあなたを高ちゃんと呼んでいるので、私はあなたと付き合うよ。」という意味を表わす。(12) a “我不会不承认”は「私は認めないわけではない。」という意味を表わす。それに対し、(12) b “我会承认”は「私は認める。」という意味を表わす。以上のように、主語が第1人称の場合、“不会不”は主語がある人に対して何かを承諾するという意味を表わす。

文の主語が第2, 3人称である場合、“不会不”は推測の意味を表わす。具体的な例文を下記のように挙げる。

5.2 推測の意味を表わす場合

文の主語が第2, 3人称である場合、“不会不”は推測の意味を表わす。具体的な例文を下記のように挙げる。

- (13) a 我想不用说，您心里也不会不明白。(曹禺《原野》)
 b 我想不用说，您心里也会明白。
- (14) a 他接到电报，不会不来的。(人民网 2011年7月22日)
 b 他接到电报，会来的。
- (15) a 这么浅显的道理，当地政府不会不明白。(人民网 2011年8月18日)
 b 这么浅显的道理，当地政府会明白。

例(13) a における動詞“明白”の主語は第2人称“您”(「あなた」)であり、例(14) a の主語は第3人称“他”(「彼」)であり、例(15) a の主語“当地政府”は第3人称である。例(13) a の“您心里也不会不明白。”は「あなたも分からないはずはないだろう。」という意味を表わす。それに対し、例(13) b “您心里也会明白。”は「あなたも分かるだろう。」という意味を表わす。例(14) a “不会不来的。”は「来ないはずはないだろう。」という意味を表わす。それに対し、例(14) b “会来的。”は「来るだろう。」という意味を表わす。例(15) a “当地政府不会不明白”は「現地政府は分からないはずはないだろう。」という意味を表わす。それに対し、例(15) b “当地政府会明白”は「現地政府は分かるだろう」という意味を表わす。つまり、主語が第2, 3人称である場合、文における“不会不”は話し手があることにに対し、推測の意味を表わすのである。

6 “不要不”の意味特徴について

“不要不”は情態動詞“要”(「～すべきである」「～する必要がある」)の二重否定の表現であり、「～してもらいたい」「～してほしい」という意味を表わす。このような見解については、まず下記の例文から分析してみる。

- (16) a 你不要不相信，时间会验证一切的。(人民网 2004年3月6日)

b 你要相信，时间会验证一切的。

(17) a 不要不说话，人家要送你去坐班房哟！（霍达《绝症》）

b 要说话，人家要送你去坐班房哟！

(18) a 牙龈出血没什么太大问题，但是千万不要不重视。（人民网 2011年6月20日）

b 牙龈出血没什么太大问题，但是千万要重视。

例(16) a “不要不相信”は「信じてもらいたい。」という意味を表わす。それに対し、例(16) b “要相信”は「信じるべきである。」という意味を表わす。例(17) a “不要不说话”は「話してほしい。」という意味を表わす。それに対し、例(17) b “要说话”は「話すべきである。」という意味を表わす。例(18) a “不要不重视”は「重視してほしい。」という意味を表わす。それに対し、例(18) b “要重视”は「重視するべきである。」という意味を表わす。つまり、“不要不”は話し手が相手に婉曲に勧告をしたり、婉曲に要求をしたりするという意味を表わすのである。

7 “不该不”（不应该不）の意味特徴について

“不该不”は“不应该不”の略語であり、情態動詞“该”“应该”（「～すべきである」）の二重否定の表現である。“不该不”（“不应该不”）の意味合いは下記のように二分類されている。

7.1 不満や後悔する意味を表わす場合

(19) a 青年人不应该不知道这段悲惨耻辱的生活，必须奋发图强，使国家更兴旺强大起来。（人民网 2008年11月11日）

b 青年人应该知道这段悲惨耻辱的生活，必须奋发图强，使国家更兴旺强大起来。

(20) a 他懊悔自己的鲁莽举动，不该不听妻子的劝阻，万里迢迢来到英国，如今想回去都不可能了。（霍达《穆斯林的葬礼》）

b 他懊悔自己的鲁莽举动，该听妻子的劝阻，万里迢迢来到英国，如今想回去都不可能了。

(21) a 说真的，那个时候你不该不在哟……那些事，实在不能甩给一个女人家呀！（人民网 2011年8月24日）

b 说真的，那个时候你该在哟……那些事，实在不能甩给一个女人家呀！

例(19) a “青年人不应该不知道这段悲惨耻辱的生活”は「若者がその間の悲惨な生活を知らないのは間違い。」という意味を表わす。それに対し、例(19) b “青年人应该知道这段悲惨耻辱的生活”は「若者がその間の悲惨な生活を知るべきである。」という意味を表わす。例(20) a “不该不听妻子的劝阻”は「奥さんの忠告を聞かないのは間違いであっ

た。」という意味を表わす。それに対し、例(20) b “该听妻子的劝阻”は「奥さんの忠告を聞くべきであった。」という意味を表わす。例(21) a “那个时候你不该不在哟”は「あの時、あなたがいなかったのは間違いよ。」という意味を表わす。それに対し、例(21) b “那个时候你该在哟”は「あの時、あなたはいるべきだったよ。」という意味を表わす。

一般に“不该不”（不应该不）は“应该”の意味と同じであると言われているが、語気上微妙なニュアンスの違いがある。というのは、“不该不”（不应该不）は話し手が現実にある行為に対し、不満や後悔する意味が含まれているからである。

7.2 推測の意味を表わす場合

“不该不”（不应该不）は推測の意味を表わす場合もある。具体的な例文を下記のように挙げる。

(22) a 你不该不认识我吧？（人民网 2011年7月25日）

b 你该认识我吧？

(23) a 它不应该不是人间的乐园。（人民网 2007年1月29日）

b 它应该是人间的乐园。

(24) a 老挝队是支怎样的球队，高洪波不应该不知道。（人民网 2011年7月25日）

b 老挝队是支怎样的球队，高洪波应该知道。

例(22) a “你不该不认识我吧？”は「あなたは私を知らないはずはないだろう。」という意味を表わす。それに対し、例(22) b “你该认识我吧？”は「あなたは私を知っているだろう。」という意味を表わす。例(23) a “它不应该不是人间的乐园。”は「ここは人間の樂園ではないはずはない。」という意味を表わす。それに対し、例(23) b “它应该是人间的乐园。”は「ここは人間の樂園であるべきである。」という意味を表わす。例(24) a “高洪波不应该不知道”は「高洪波さんは知らないはずはない。」という意味を表わす。それに対し、例(24) b “高洪波应该知道”は「高洪波さんは知っているはずである。」という意味を表わす。以上のように、“该”（应该）が「～すべきである」という意味をあらわすのに対し、その二重否定形式の“不该不”（不应该不）は、あることに対し、婉曲に推測する意味を表わすのである。

8 まとめ

以上，“不M不”形式の二重否定について，“不能不”，“不得不”，“不要不”，“不会不”，“不该不”（不应该不）に焦点をあてて意味変化の類型分析の視点から分析をした。本稿の結論をあらためてまとめてみると、次のような五点にな

る。

- ① “不能不”は文中で主観的な理由や客観的な理由でやむを得ない場合に用いられ、あることに対する必然性の推定を表わす場合にも用いられる。
- ② “不得不”は文中で客観的な理由で、あることをせざるを得ないという意味を表わす。主観的なことを表さないから、“不能不”と異なる。
- ③ “不会不”は、主語が第1人称である場合には、あることに対して承諾する意味を表わす。主語が第2, 3人称である場合には、あることに対して婉曲に推測する意味を表わす。
- ④ “不要不”は文中で、ある人に婉曲に勧告をしたり、婉曲に要求をしたりするという意味を表わす。
- ⑤ “不该不”(不应该不)は、主語があることに対して不満を抱いたり、後悔したりする場合に用いられる、また、婉曲に推測する場合にも用いられる。

文 献

- 崔显军(2001). 双重否定句和一般肯定句的分工. 《天津外国语学院学报》年3期.
- 望月 八十吉(1974). 『中国語と日本語』東京:光生館.
- 大河内 康憲(1997). 『中国語の諸相』東京:白帝社.
- 太田 朗(1980). 『否定の意味』東京:大修館書店.
- 彭利贞(2007). 《现代汉语情态研究》北京:中国社会科学出版社.
- 谭惠敏(2006). 《“不得不”与“不能不”的辨析》大连:辽宁师范大学硕士研究生学位论文.
- 荒崧(2003). 重新认识双重否定. 《湖北民族学院学报》第2期.
- 王占華(2004). 『中国語語学概論』東京:駿河台出版社.
- 朱德熙(1982). 《语法讲义》北京:商务印书馆.

(ファン ウェイ : 鹿児島国際大学大学院国際文化研究科
博士後期課程)